

価値創造の軌跡

1948年の創業以来、「我々は品質の良いものをつくりたい」という創業者の熱い想いととも、常にお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけ、「品質第一」「顧客満足」を目指してきました。

創業期

1948年に愛知県瀬戸市にて日東工業株式会社を設立。瀬戸の陶磁器を活用した「カットアウトスイッチ」から始まりました。

成長期

「標準分電盤・制御盤」「鉄製キャビネット」「システムラック」など、電気設備や機器の開発・提案を通じて電気や情報のインフラをさまざまなカタチでサポートしてきました。

安定期

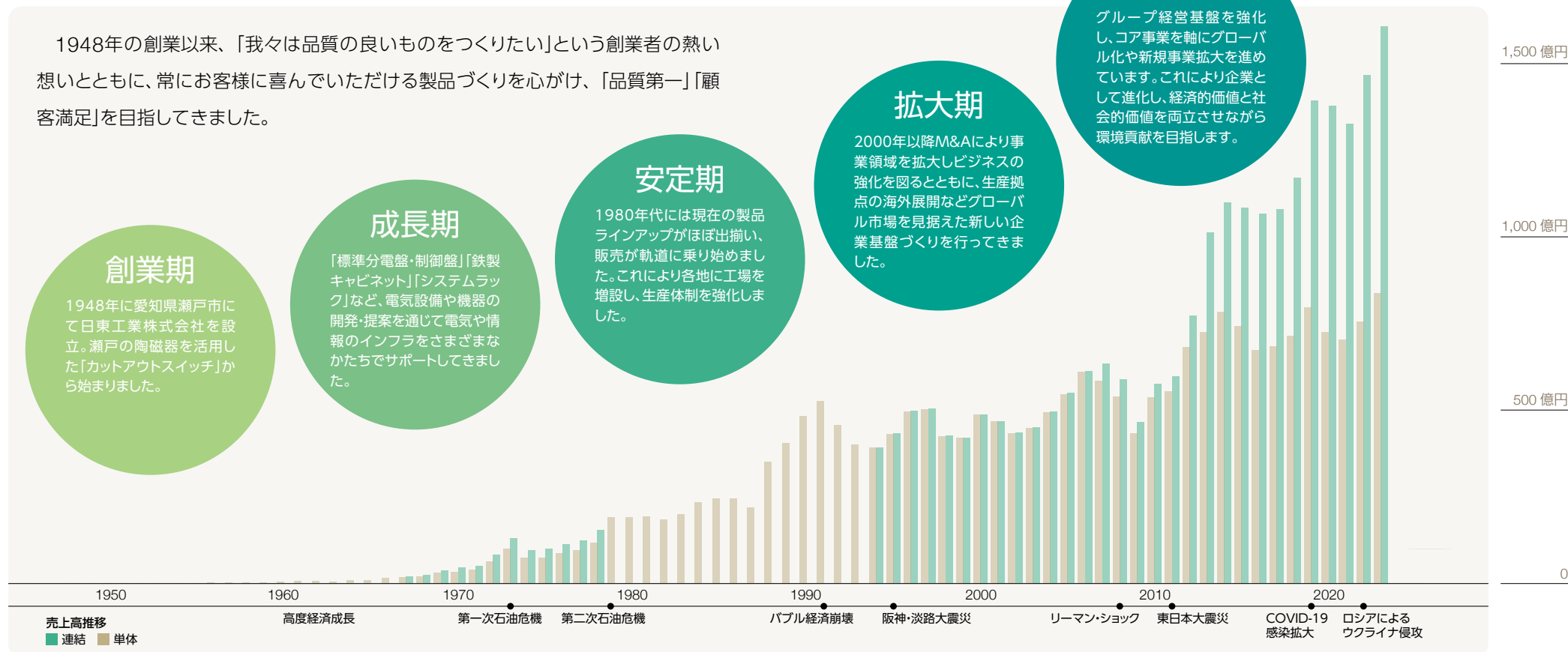
1980年代には現在の製品ラインアップがほぼ揃い、販売が軌道に乗り始めました。これにより各地に工場を増設し、生産体制を強化しました。

拡大期

2000年以降M&Aにより事業領域を拡大しビジネスの強化を図るとともに、生産拠点の海外展開などグローバル市場を見据えた新しい企業基盤づくりを行ってきました。

変革期

グループ経営基盤を強化し、コア事業を軸にグローバル化や新規事業拡大を進めています。これにより企業として進化し、経済的価値と社会的価値を両立させながら環境貢献を目指します。



1948年
カットアウト
スイッチ
販売開始



1951年
カバー付
ナイフスイッチ
販売開始



1963年
標準分電盤、
制御盤、
ホーム分電盤
販売開始



1966年
キュービクル式
高圧受電設備
販売開始



1967年
鋼板製キャビネット
販売開始



1969年
樹脂製ボックスの
販売開始



1975年
安全ブレーカ
販売開始



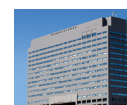
1980年
システムラック
販売開始



1996年
光接続箱
販売開始



2009年
電気自動車
(EV・PHEV) 用
充電器シリーズを
株式会社豊田自動
織機と共同開発



2013年
サンデレホン
株式会社を
子会社化



2019年
北川工業
株式会社を
子会社化



2020年
個室型ワークブース
プライベートボックス®
販売開始



2023年
産業用太陽光自家
消費蓄電池システム
サファ Link-ONE-
販売開始



2024年
テンパール工業
株式会社を
子会社化

価値創造プロセス

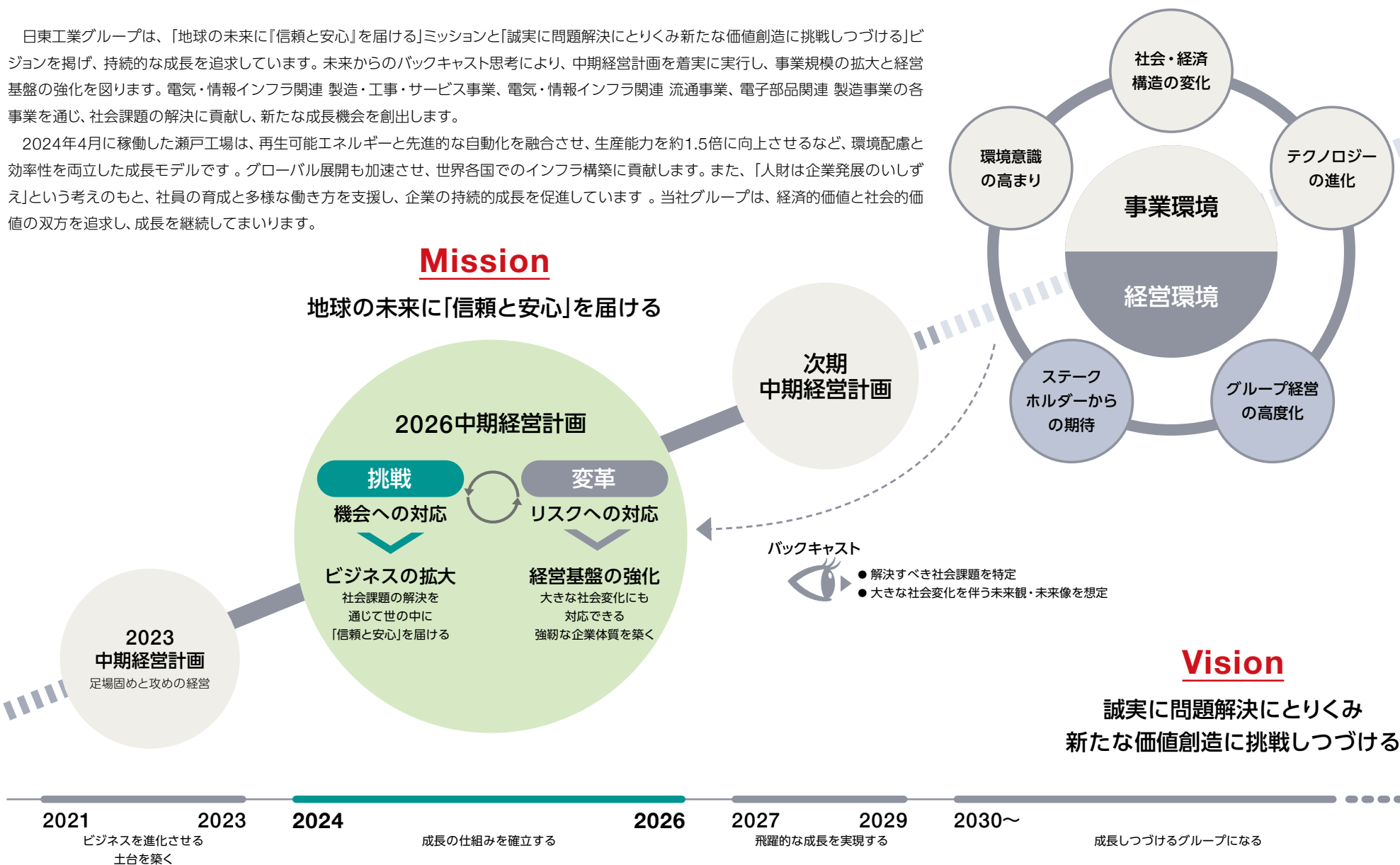
日東工業グループの価値創造プロセスを1枚絵で示したものです。起点は一番左にある環境認識であり、常に社会課題を起点に考え、社会課題を解決することで社会的価値と経済的価値の両立により企業価値を向上させていくことが持続可能性を高めると考えています。



長期成長ストーリー

日東工業グループは、「地球の未来に『信頼と安心』を届ける」ミッションと「誠実に問題解決にとりくみ新たな価値創造に挑戦しつづける」ビジョンを掲げ、持続的な成長を追求しています。未来からのバックキャスト思考により、中期経営計画を着実に実行し、事業規模の拡大と経営基盤の強化を図ります。電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業、電気・情報インフラ関連 流通事業、電子部品関連 製造事業の各事業を通じ、社会課題の解決に貢献し、新たな成長機会を創出します。

2024年4月に稼働した瀬戸工場は、再生可能エネルギーと先進的な自動化を融合させ、生産能力を約1.5倍に向上させるなど、環境配慮と効率性を両立した成長モデルです。グローバル展開も加速させ、世界各国でのインフラ構築に貢献します。また、「人財は企業発展のいしずえ」という考えのもと、社員の育成と多様な働き方を支援し、企業の持続的成長を促進しています。当社グループは、経済的価値と社会的価値の双方を追求し、成長を継続してまいります。



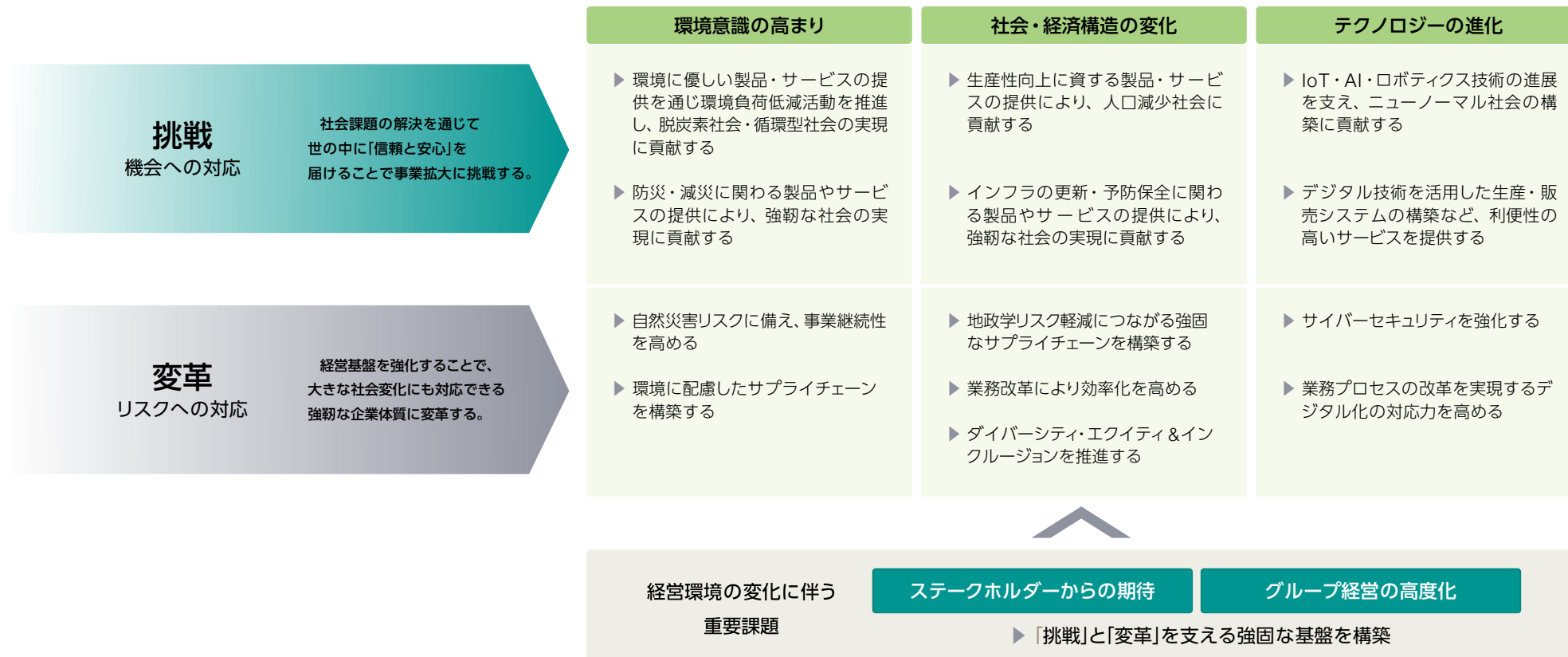
マテリアリティ

持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、環境変化を「挑戦」と「変革」の機会と捉えています。以下の取り組みは事業拡大と継続性を支え、ステークホルダーの期待に応えて、グループ経営を高度化する基盤となっています。

重要課題への取り組みは事業と深く関連し、未来を創造します。環境意識の高まりに対しては、再生可能エネルギー関連製品の強化やスマートファクトリーの稼働を通じて脱炭素社会・循環型社会に貢献し、事業成長と環境貢献を両立させています。社会・経済構造の変化に対しては、生産性向上に資する製品・サービスの提供を通じて労働人口の減少という課題に貢献し、インフラ構築や予防保全に関わる製品・サービスで強靱な社会の実現を支えています。テクノロジーの進化に対しては、DX推進によりシステム化で事業効率と価値創造を高め、サイバーセキュリティ強化で信頼を確保しています。

日東工業グループは、これらの課題に真摯に向き合い、「挑戦」と「変革」を繰り返すことで、社会に貢献し続ける企業グループとして未来を創造していきます。

事業環境の変化に伴う重要課題



価値創造ストーリーの解説

未来をひらく日東工業グループの挑戦

日東工業グループは、単なる製品供給にとどまらず、地球の未来と社会の持続可能性を真摯に見据え、新たな価値創造に挑み続けています。私たちの価値創造プロセスは、常に社会が抱える根源的な課題を起点とし、その解決を通じて、経済的価値と社会的価値の双方を最大化することで、企業としての持続可能性を確固たるものにしています。この独自のプロセスは、以下に示す「事業環境」と、それを支える「経営環境」から始まります。

事業環境

持続可能な社会の実現に貢献するために事業を展開するうえで認識すべき環境

環境意識の高まり

- カーボンニュートラルへの対応
エネルギーシフト／モビリティ電動化の進展
資源活用／循環型経済
- 自然災害の激甚化
- 水セキュリティ意識の高まり

経営環境

責任ある企業として、ステークホルダーからの期待に応え続けるために認識すべき環境

ステークホルダーからの期待

- 資本効率を意識した経営
- 資金の適正配分
[成長投資／株主還元]
- 非財務情報の開示要請
- 高度なガバナンス体制

社会・経済構造の変化

- 労働人口減少、少子高齢化
- 都市の老朽化
- 地政学リスクの高まり
- 社会や人の価値観の変化

サステナブルな社会の実現

環境・社会・経済の
持続可能性への配慮により、
事業の持続可能性向上を図る経営が必要不可欠

事業環境

経営環境

プライム上場企業としての責務

グローバルで多くの
機関投資家の投資対象になり、
高いガバナンス・持続的な成長・企業価値の
向上が必要不可欠

テクノロジーの進化

- データ量の爆発的拡大
- デジタル技術活用の急速な広がり
- AI・IoTの急激な進化
- 電動化・電子化・自動化の進展
- サイバーセキュリティリスクの増大

グループ経営の高度化

- シナジーの創出
- 成長事業への迅速な投資判断
- 事業ポートフォリオマネジメントの高度化
- リスクマネジメントのレベル向上